日本中国語学会第 76 回全国大会ワークショップ応募規定

日本中国語学会全国大会運営委員会（2026 年 2 月 4 日）

１．ワークショップは大会初日に 2 時間（予定）の枠で、3 部会程度に分かれて行われ、それぞれ同一のテーマのもとで約 4 人の発表者が互いに関連した発表をする。発表方法は対面のみとする。内容としては、オリジナルな研究発表はもとより、ある領域の回顧と展望といったものも歓迎する。商業目的ないしそれに類する企画は採択されない。

２．応募は企画者が代表して行うこと。企画者を含む半数以上の発表者は本学会会員であることを要し、かつ会員については全員が応募期間最終日までに前年度分までの会費が納入済みであることを条件とする。なお、1 人が発表できるワークショップは 1 部会に限る。

３．応募期間は、日本時間 2026 年 5 月 17 日（日）から 5 月 31 日（日）の 24 時までとする。審査結果は 6 月中旬に企画者に通知する。会員である発表者が本年度分会費未納の場合は、納入が確認できた時点で正式採択となる。なお、採択された企画の発表者は一般の研究発表・ポスター発表に重複して応募することはできない。

４．司会者は応募する側で準備すること。司会者は企画者ないし発表者が兼ねても差し支えないが、別途立てる場合は会員比率半数以上という規定の総人数に算入される。2 時間の時間配分は自由だが、1 人あたりの発表時間が 20 分を超えないことを原則とする。

５．メインテーマおよび発表者は採択後に変更できないが、各発表者の題目は応募時の段階では仮題でも差し支えない。発表者全員の最終題目は一般の研究発表の応募期間内（2026 年 6 月 16 日～30 日）に提出することとし、それ以降は変更できない。

６．ワークショップを他の学会・大学（附置組織も含む）・研究会などの組織との共催・後援名義によって行うことはできない。あくまでも本学会単独の企画として行うこと。ただし、科研費・民間財団助成金・学内プロジェクトなどの資金援助を受けている旨を予稿集原稿に記すことは差し支えない。

７．予稿集の原稿は 1 部会あたり全体で 21 ページ以内とし、1 ページ目で趣旨説明を行い、それに続く 20 ページ以内を各発表者に割り当てるが、個別発表は各 5 ページ以内とする。原稿の形式や締め切り等の事項は 2026 年 7 月下旬までに学会ウェブサイトに掲載される予定の予稿集原稿作成要領に準ずる。原稿の提出は企画者が全発表者の分を取りまとめて行うこと。予稿集は電子版のみで製作され、一般公開する。

８．採択された場合は、1 企画につき 2 万円の活動費を大会当日または大会後に支給する。活動費を超えて必要な費用は応募する側が負担すること。

９．二重投稿・応募後の発表辞退・予稿集原稿の提出遅延などの異例の事態が起こった場合、理由書の提出を求め、採択の取り消しおよび以降の本学会における活動を制限するペナルティを科すことがある。

１０．応募する研究発表が「ヒトを対象とする実験研究」に該当する場合、所属機関等における倫理審査を経るなど適切な措置を発表者の責任において講じなければならない。万一、研究倫理上の問題が発生した場合、発表者および共同発表者が一切の責任を負う。

１１．応募する際は、以下の内容を Word ファイルで作成し、全国大会運営委員会まで添付ファイルにて送付されたい。

１）企画者・発表者・司会者について、氏名・email アドレス・所属機関・職名・会員番号・会費納入状況を記した一覧表（非会員を含める場合はその理由も付すこと）

２）ワークショップのメインテーマと各発表者の仮題

３）当該企画の概要・意義（1000 字以内）

◆ 送付先： clsj_taikai■chilin.jp（■を@に換えてください）

以上